

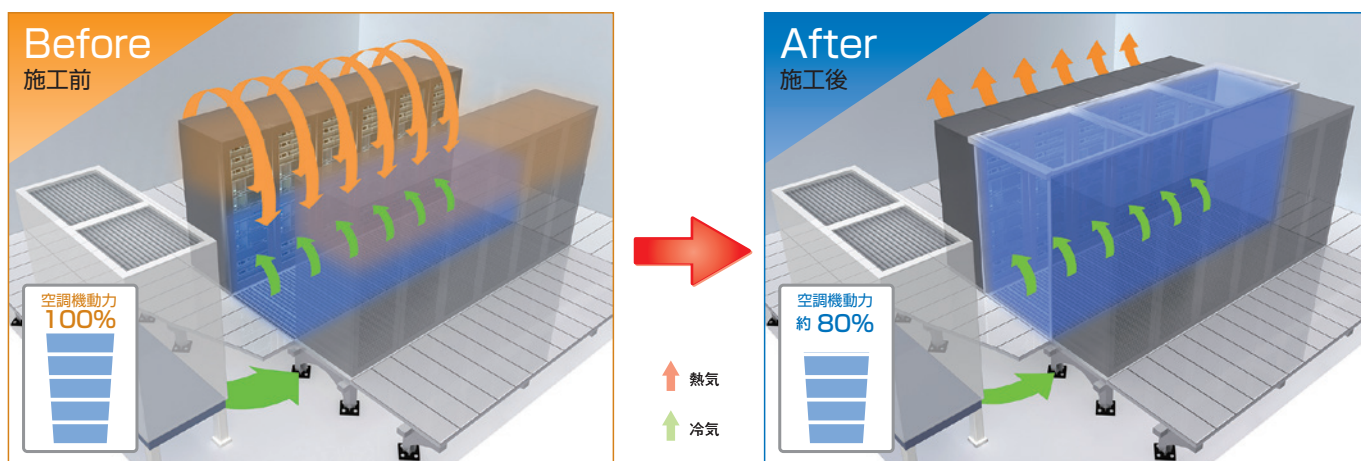
アイルキャッピング (ICT装置用気流制御システム)

データセンター内の気流を制御し、空調機動力を最大20%低減!!

データセンターの吸気通路を壁や屋根で囲むことで、二重床からの空調機からの冷気と、サーバー等からの高温排気を分離できるため、機器を適切に冷却し、空調機の冷却効率の向上を実現します。

特長

- 空調機からの供給風量低減や運動効率の向上による省エネルギー効果の実現 (空調機動力を最大20%低減)
- コールドアイルのホットスポットを解消し、良好な空調環境を実現
- 空調停止時の室温の上昇を抑制



※イラストはイメージです。ICT装置の種類や台数、設置場所の環境などに より、温度の上昇と冷却効果は異なります。

ICT装置用気流制御システム

AISLE CAPPING[®]
アイルキャッピング

コールドアイルを囲むアイルキャッピングはラックの上部や列端部からの排気の回り込みを遮断し、空調機からの冷気とICT装置からの高温排気を物理的に分離します。このため、無駄なエネルギーを消費することなくICT装置を効果的に冷却できます。

※「アイルキャッピング」は株式会社 NTT ファシリティーズの登録商標です。

※ 株式会社 NTT ファシリティーズは「アイルキャッピング」に関する特許権を保有しています。

ラインアップ

	標準版		Lite	
タイプ	ヘッドキャップ・ロール	サイドキャップ・ロール	ヘッドキャップ・ロール	サイドキャップ・タベストリ
ヘッドキャップ(天井部)	ロールスクリーン式	パネルロールスクリーン式	ロールスクリーン式	タベストリ式
エンドキャップ(連結端部)	ロールスクリーン式	上(タベストリ式) 下(ロールスクリーン式)	ロールスクリーン式	上(タベストリ式) 下(ロールスクリーン式)
段差対応	300mm	800/1200mm	—	800/1200mm
耐熱性	不燃タイプ(建築基準法で定める不燃材料をパネル(シート)に使用したもの) または 防炎タイプ(消防法で定める防炎性能を有する材料をシートに使用したもの)			

【設置条件及び留意事項】

標準版・Lite共通 ●コールドアイルとホットアイルが形成されていることが設置条件です。●対象となるラックすべてがラック前面吸気→ラック後面排気であることが設置条件です。

●室内に新たな区画が形成されるため、区画などについて所轄消防署に確認する必要があります。

Liteのみ

①耐震ビルの中層階以下のフロアへの設置が前提です。②ヘッドキャップタイプは、ラック高さが揃っていることが前提です。①、②の条件が揃わない場合、標準版の採用をおすすめします。